

大学生の収入と消費行動について

氏名 佐藤雄人

研究の背景

今の大学生は将来のため、就活のために貯金をしないといけないと思う。しかし、大学生はお金がないイメージがある。

その理由として「変身行動の消費心理—大学生における変身行動の消費心理—」で大学生になるとしっかりした大人になろうと自分に足りない部分を補おうとして、あるいは自分をいっそランクアップさせようとして、つまり自分をさまざまに変身させるため、「物」や「コト」にお金を使って生活している。と述べている。そんな中でさほど稼ぎがない大学生はお金を月の平均どのくらい稼いで、いくらくらい消費しているのか、またどんなものにお金を使ってしまうのか。その中でいくらくらい貯金に当てているのか気になった。

研究の目的

本研究の目的は大学生がどうすれば貯金ができるようになるのかという課題を解決するためである。そのために大学生の月の収入はどのくらいあり、その収入は何に使っている、月にどのくらいのお金を使っている、月にどのくらいのお金を使っているのか調査して、何を換えれば貯金を多くできるのか、無駄な出費はどうして生まれてるのかを明らかにするため。

仮説と予測

大学生はアルバイトの103万という扶養の壁があり、1年を12ヶ月でおよそ1ヶ月で平均8万5千円ほどしか稼ぐことができない。その中で月の携帯代など払っている人やクレジットカードを持っている人は毎月の引き落とし、美容、洋服、趣味、娯楽、友人とのごはん代などかかる。1人暮らしの人はもっと大変でその中にプラスして家賃を払っている人もいるし、光熱費、日用品などいろいろ重なってしまう。そうなってくると実家暮らしでも月に8万5千円では日々の生活するのに手一杯だと思う。そのため貯金などできても1.2万円、もしくはできない人もいるので貯金できている人はほんの僅かだと思う。

研究方法

研究方法はアンケート調査でバイトに関する詳細の情報と貯金に関する調査をする。そのアンケート調査から大学生の収入状況などから貯金をどのようにしたらできるのか分析する。

調査内容

アンケート調査の内容は

- ・学年、性別
- ・バイトをしているのか
- ・バイトは掛け持ちしているか
- ・なんのバイトをしているか
- ・自給はいくらか
- ・月の労働時間
- ・月の収入
- ・月の支出

調査内容

- ・支出の内訳
- ・今までの買い物で一番高かったものと値段
- ・貯金をしようとしているか
- ・月でどのくらい貯金をしているのか

今後の課題

今後はアンケート調査の内容をもっと良くするのと、アンケート調査をし、分析を行う。